

研究開発管理のための

【LIVE配信】【アーカイブ配信】

『利益管理』の基本とコストマネジメントの実践

1名分料金で
2人目無料

～技術者が知っておくべき利益の構造から、管理職のための戦略的意思決定まで

セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/260705>

- ◆日時：2026年07月08日（水）10:30～16:30
- ◆アーカイブ配信：7/9（木）～7/23（木）何度でも受講可能
- ◆受講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円（税込）から
 ・1名で申込の場合、**49,500円（税込）**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計55,000円（2人目無料）**です。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】 岸田公認会計士事務所 所長
 税理士法人 関西総合会計事務所 所長
 公認会計士・税理士 岸田 泰治氏

【講演の趣旨】 製品のライフサイクルが短期化し、グローバル競争が激化する現代において、研究開発活動は単なる技術投資ではなく、持続可能な「企業価値創造の源泉」として、より厳密な利益管理とコスト効率が求められています。本セミナーでは、不確実性の高い研究開発を「未来への投資」と定義し、そのリターンを最大化するための実践的な管理手法を習得します。「技術は一流だが、事業としての採算が不透明」という課題を打破するため、損益分岐点分析やNPV、ターゲット・コストニングといった財務的視点を、技術者の共通言語へと昇華させます。会計知識に不安がある初学者から、サンクコストに縛られない冷徹な意思決定を担う管理職、現場でコストを作り込む技術者まで、全関係者が対象です。技術的な成功を「確実な利益」へと結びつけ、R&D部門を単なるコストセンターから、企業の未来を牽引するプロフィットセンターへと変革する力を養います。

【プログラム】

- 利益管理の全体像と研究開発費の特殊性
 - 研究開発における利益管理の重要性
 - 研究開発の特殊性（長期的視点・不確実性・意思決定手法）
- 損益計算書のメカニズムと費用分類の基本
 - P/L（損益計算書）の基礎
 - 変動費・固定費の分類
 - 限界利益概念
- コストマネジメントの実践
 - 試験研究特有のコスト構造分析
 - 研究・製造設備のコスト構造の理解
 - 設備の稼働率向上が重要であることを説明します。
 - 製造原価（材料費、労務費、経費）と目標原価設定の考え方
 - 製造コストの構成要素を知る
 - 計変更が原価にどう影響するか
（材料の変更・部品点数の変更・製造プロセスの変更）
 - CVP分析と原価企画
 - CVP分析の基礎と活用
 - 原価企画（ターゲット・コストニング）の活用
- 研究開発プロジェクトの評価
 - 研究開発プロジェクトの評価
 - 戦略的意思決定のためのアプローチ
- まとめ（質疑応答）

『コストマネジメント』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812

※ご希望の参加形式にチェック下さい⇒< LIVE / アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>